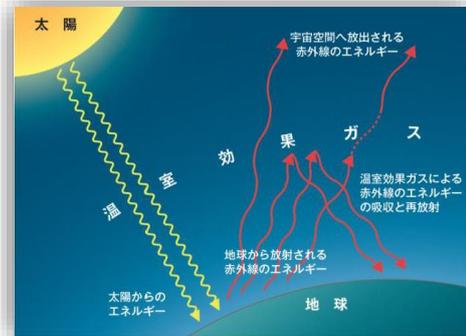


### 地球温暖化とは？

地表は太陽からのエネルギーで暖められ、暖められた地表からは赤外線が放射されます。この赤外線を大気中の温室効果ガスが吸収することで、大気が暖められます。これが温室効果のメカニズムです。

現在の地球の平均気温は約 14℃ですが、温室効果ガスがまったく存在しない状態を仮定した場合、平均気温は-19℃になるといわれています。このため、地球を住みやすい気温に保っている温室効果ガスは、地球に生息する生物にとって不可欠といえます。

しかし、産業革命以降、人間の活動により大気中に放出される温室効果ガスが急速に増え、温室効果が強くなり、地表面の気温が上昇しています。これを「地球温暖化」と呼んでいます。



出典：「STOP THE 温暖化 2012」（環境省）

図1 地球温暖化のメカニズム

### 計画の推進と効果の検証

町では、町の事務・事業に伴い発生する温室効果ガス排出量を削減するため、2001（平成13）年度に「函南町地球温暖化対策実行計画」を策定し、以降、庁舎や施設の新設や廃止、庁内組織体制の変更、地球温暖化問題を取り巻く状況の変化などを踏まえながら計画の改定や見直しを行い、現在は2030年度を目標年度とする第4次計画が進行中です。

町は第4次計画に基づき、温室効果ガスの排出を抑制する取り組みを率先して行い、地球温暖化対策を推進しています。「函南町 地球温暖化対策実行計画令和5年度点検・評価報告書」（以下「本報告書」といいます。）では、その効果を検証するため、令和5年度における町の事務・事業に起因する温室効果ガス排出量を算定し、削減目標の達成状況を評価しました。

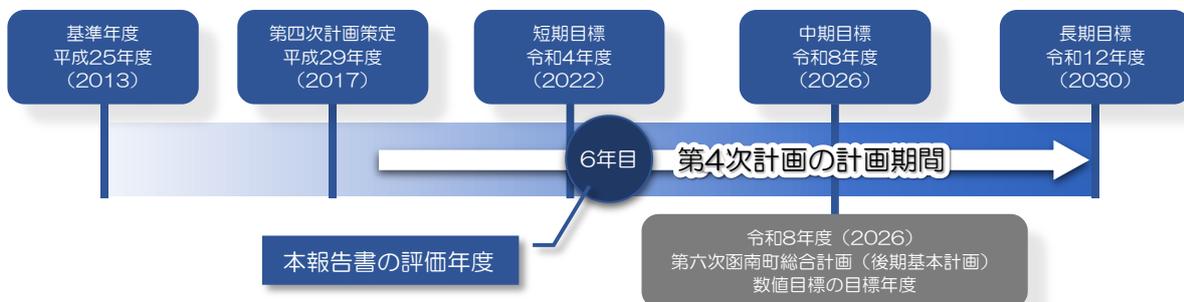


図2 計画期間

## 対象とする温室効果ガス

温室効果ガスは「地球温暖化対策の推進に関する法律」第2条第3項で規定されており、表1に示すとおりです。7種類のガス（二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素）が温室効果ガスとして定められています。

なお、パーフルオロカーボン、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素の3種類については現在、発生する事務事業がありません。そのため、第四次計画の算定対象ガスは、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンの4種類としました。

表1 計画の対象とする温室効果ガス

ガスの種類	人為的な発生源	地球温暖化係数※1	
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	産業、民生、運輸部門などにおける燃料の燃焼に伴うものが全体の9割以上を占め、温暖化への影響が大きい。	1	対象
メタン (CH <sub>4</sub> )	稲作、家畜の腸内発酵などの農業部門から出るものが半分を占め、廃棄物の埋立てによる排出も2～3割を占める。	28	
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	燃料の燃焼に伴うものが半分以上を占めるが、工業プロセスや農業からの排出もある。	265	
ハイドロフルオロカーボン (FHC)	エアゾール製品の噴射剤、カーエアコンや冷蔵庫の冷媒、断熱発泡剤などに使用。	4～12,400	
パーフルオロカーボン (PFC)	半導体等製造用や電子部品などの不活性液体などとして使用。	6,630 ～ 11,100	非対象
六ふっ化硫黄 (SF <sub>6</sub> )	変電設備に封入される電気絶縁ガスや半導体等製造用などとして使用。	23,500	
三ふっ化窒素 (NF <sub>3</sub> )	半導体製造でのドライエッチングやCVD（薄膜形成）装置のクリーニングにおいて用いられる。	16,100	

※1：二酸化炭素の温室効果を1とした場合、他の温室効果ガスがどの程度地球温暖化に影響するかを示した数値。

## 対象とする施設

温室効果ガス排出量を推計する対象施設は、表2に示すとおりです。

表2 計画の対象とする組織・施設

### 対 象 施 設

総務課	●第1分団詰所 ●第2分団詰所 ●第2分団詰所（軽井沢） ●第3分団詰所 ●第5分団詰所 ●第6分団詰所 ●同時通報無線施設
管財課	●役場庁舎 ●柏谷公園 ●仁田さくら公園 ●間宮児童公園 ●間宮川向公園 ●日守山公園 ●原生の森 ●防犯灯 ●庁用車 ●ヒューマンヒルズふれあい中央公園 ●やすらぎ西公園 ●ふれあい東公園
建設課	●肥田排水ポンプ場 ●熱函料金所跡地（送水） ●日守下の谷戸排水路ポンプ場 ●日守下の谷戸排水機場 ●日守岩崎排水ポンプ場 ●街灯（函南駅前外） ●仁田排水ポンプ場
健康づくり課	●保健福祉センター（デイサービスセンターを含む） ●温泉スタンド ●湯〜トピアかなみ
福祉課	●わかかさ共同作業所
環境衛生課	●ごみ焼却場・リサイクルプラザ ●最終処分場 ●し尿処理場
産業振興課	●新田排水機場 ●塚本排水機場 ●落合排水機場 ●畑毛排水機場 ●稲妻排水機場 ●畑毛川島ポンプ場 ●川の駅（伊豆ゲートウェイ函南）
上下水道課	●蛇ヶ橋ポンプ場 ●田代地区農業集落排水処理施設 ●浄水場 ●配水池 ●送水ポンプ場 ●加圧ポンプ場 ●汚水マンホールポンプ場
学校教育課	●函南小学校 ●丹那小学校 ●桑村小学校 ●東小学校 ●西小学校 ●函南中学校 ●東中学校
子育て支援課	●春光幼稚園 ●丹那幼稚園 ●二葉こども園 ●間宮幼稚園 ●みのり幼稚園 ●自由ヶ丘幼稚園 ●西部保育園 ●東部第1、第2及び第3留守家庭児童保育所 ●中部第1、第2及び第3留守家庭児童保育所 ●西部第1、第2及び第3留守家庭児童保育所 ●北部留守家庭児童保育所 ●丹那留守家庭児童保育所
生涯学習課	●函南町文化センター ●函南町体育館 ●西部コミュニティセンター ●農村環境改善センター ●ふれあいセンター ●木立キャンプ場 ●肥田簡易グラウンド ●丹那断層 ●柏谷横穴群 ●桑原薬師堂（トイレのみ） ●仏の里美術館 ●図書館等複合施設（知恵の和館） ●文化財整理室（函南中学校内） ●函南運動公園（かなみスポーツ公園）
管理施設なし	企画財政課 住民課 都市計画課 会計課 税務課 議会事務局

## 温室効果ガス排出量

町の事務・事業に伴い発生する温室効果ガス排出量の実績は表3及び図3に示すとおりです。

2023(令和5)年度の町の事務・事業に伴い発生する温室効果ガス排出量は、8,945.0 t-CO<sub>2</sub>/年でした。基準年度と比較して温室効果ガス排出量が992.6 t-CO<sub>2</sub>/年(基準年度比-10.0%)減少していますが、令和8年度における目標(6,818.8 t-CO<sub>2</sub>/年)には2,126.2 t-CO<sub>2</sub>/年削減が足りず、目標は未達成となっています。

2023年度  
(令和5年度)

基準年度比 992.6t (10.0%) 削減

中期目標 2026(令和8)年度

6,818.8 t-CO<sub>2</sub>/年

長期目標 2030(令和12)年度

4,968.8 t-CO<sub>2</sub>/年

表3 温室効果ガス排出量の推移

項目	t-CO <sub>2</sub> /年			
	基準年度 2013年度 (平成25年度)	過年度 2021年度 (令和3年度)	直近年度 2022年度 (令和4年度)	直近年度 2023年度 (令和5年度)
温室効果ガス 排出量	9,937.6	9,424.9	9,085.8	8,945.0
基準年度比 削減割合	—	-5.2%	-8.6%	-10.0%

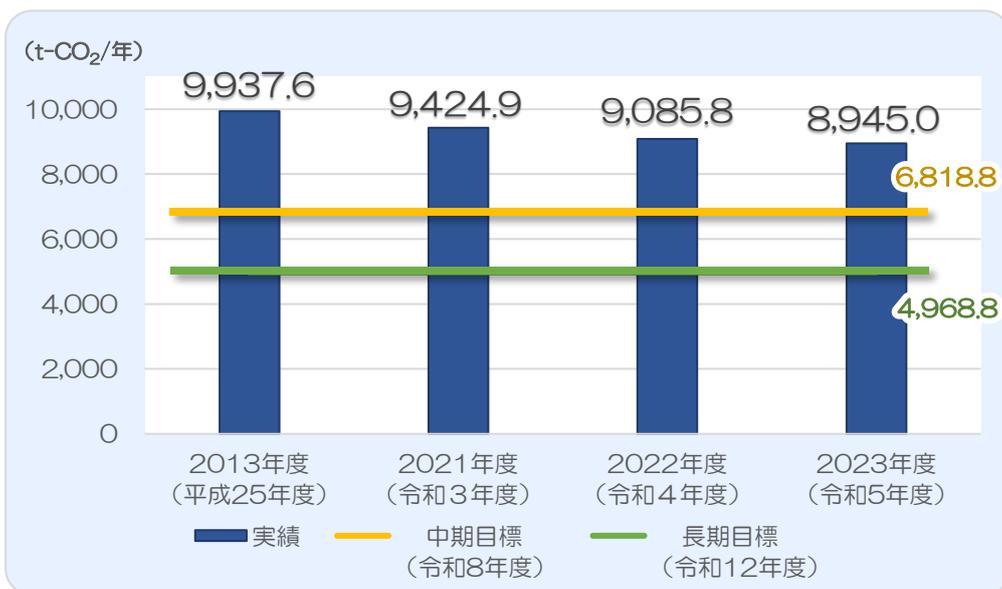


図3 温室効果ガス排出量の推移

## 地球温暖化への取組

町の事務・事業に伴い発生する温室効果ガス排出量の内訳は、図4に示すとおりです。

電気の使用が49.3%と最も割合が高く、次いで一般廃棄物の焼却が42.2%、燃料の使用（公共施設等）が7.3%の順となっています。電気の使用と一般廃棄物の焼却に伴い発生する温室効果ガス排出量の割合は、全体の約9割を占めています。

温室効果ガス排出量を削減するためには、節電とごみの減量（特にプラスチックごみ）が重要です。町民の皆様にも、日頃から使い捨て製品の使用を減らし、分別を徹底し、節電に心掛けていただくことで、温室効果ガス排出量を減らすことができます。

町では、環境に配慮した設備への切替えや省エネ・節電対策、分別の徹底など、引き続き職員一人ひとりが温暖化対策に取り組んでいきます。

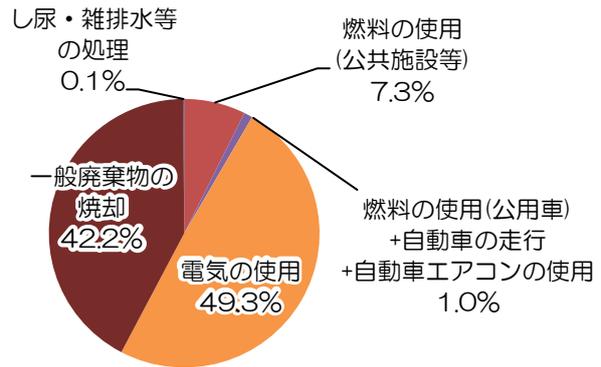


図4 温室効果ガス排出量の内訳【2023(令和5)年度】

## 温室効果ガス削減への心掛け

### 【ごみ削減で、CO<sub>2</sub>削減】

- 6Rの推進  
Refuse(断る) Reduce(発生抑制)  
Reuse(再使用) Recycle(再生利用)  
Return(返却) Recover(回復)
- 分別の徹底
- 備品や紙の効率的な利用

### 【節電で、CO<sub>2</sub>削減】

- エアコンの室温設定  
(夏：28℃、冬：20℃)
- エアコンのフィルターを定期的に掃除する
- LED照明に切り替える
- 使用しない家電は、コンセントから抜く

### 【燃料の消費を抑えて、CO<sub>2</sub>削減】

- 先進環境対応車の導入
- エコドライブの実行

### 【施設を見直して、CO<sub>2</sub>削減】

- ビルエネルギー管理システム(BEMS)、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)の導入など、建物全体の省エネ化を図る
- 施設の屋根への太陽光パネル設置など、再生可能エネルギーの導入を図る



太陽光パネルを載せたかなみ仏の里美術館